

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

西本智実 指揮 イルミナートフィルハーモニーオーケストラ

観桜会 2018

桜コンサート開催

4.29 (日・祝)

13:30 開場 / 14:00 開演

本学体育館

新緑のチャイコフスキー

4.30 (月・祝)

14:00 開場 / 15:00 開演

まつもと市民芸術館

新・歯学部長に 宇田川信之教授が就任



歯学部長 宇田川信之

このたび4月1日付けで歯学部長を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、矢ヶ崎雅理理事長

3月29日(木)に開催の学校法人松本歯科大学第187回理事会・第130回評議員会にて、新・歯学部長に宇田川信之教授(口腔生化学講座)が満場一致で推挙、承認された。

および川原一祐学長の下で、皆様のご支援・ご鞭撻を賜り、この重責を果たしたいと念願しております。

私は、1987年に本学10期生として卒業し、昭和大学歯科病院にて研修を開始し、同大学院にて「破骨細胞研究」に出会い、エキサイティングな楽しい研究生活を送ることになりました。その後、2001年

当日は午前10時から病院入口受付にて無料の入場チケットを

今回の「桜コンサート」は2年ぶりの開催、再び感動を大勢の来場者にお届けする。

演奏曲目は、チャイコフスキー「交響曲第5番」より第4楽章など。

台湾の歯科医師国家試験の結果が3月28日(水)に発表され、受験生83人のうち、郭先生は第2位「榜眼」であった。(古代中国の官僚採用試験である科

「状態」第2位「榜眼」、第3位「探花」と呼び称賛した)郭先生は、すでに日本の歯科医師国家試験にも合格しており、今後本学出身者が台湾歯科医療界で活躍する際の旗振り役として期待される。



本学在学時の郭先生

39期生・郭芷柔先生 台湾歯科医師国家試験で第2位「榜眼」合格

本学は4月29日(日・祝)、色鮮やかな八重桜が咲き誇るキャンパスにおいて、恒例の観桜会と第33回大学祭「松濤祭」を同時開催する。注目イベントは、西本智実さん指揮、イルミナートフィルハーモニーオーケストラによる「桜コンサート」。

世界的に活躍する西本さんは、2008年の本学新病院開院コンサートにおいてモンテカルロフィルハーモニーを指揮して華麗な演奏を披露した。16年には学生を対象に特別講義を行い、名誉博士称号を授与された。また観桜会では、西本さんが芸術監督を務めるイルミナートフィルハーモニーオーケストラを率いてクラシック音楽の名曲を演奏し、聴衆を魅了した。

台湾の歯科医師国家試験のシステムは一次試験合格後、医療機関での一年間の研修を経て二次試験を受験する。1月28日(日)に実施された二次試験の結果が3月28日(水)に発表され、受験生83人のうち、郭先生は第2位「榜眼」であった。(古代中国の官僚採用試験である科

観桜会 & 松濤祭 クラシック音楽の感動を再び 「桜コンサート」2年ぶりの開催



どを企画。実行委員長の中田智是君(第4学年)は「地域の皆さんに観桜会と同時に松濤祭も楽しんでいただけたら、多様な企画を用意しています。地域に愛される大学として盛り上げていきたい」と語り、多くの方々の来場を呼び掛けている。

東京では4月早々、ソメイヨシノザクラが満開となる。夜風も心地よく、半袖のセーター姿がちらほら目につき、電車の窓が開きはじめる。



有賀 淳し

お天気歳時記

元日本気象協会調査役
お天気コンサルタント

29日からはじまるゴールデンウィークとともに人びとの行楽の足はぐっと広がる。しかし、高い山は冬の様相が濃く、降れば雪である。

4月は、初夏を連想するような陽気があったかと思うと、一転して冬を思わせる空気が流れ込んだりする。特に暖かな日が多くなったときには、いきなり早春に南下できなかった寒が残っていて、寒さを忘れたところに受けやすい。

暦をみると15日のところに「梅若忌」というのが目につく、京都の貴族の少年が人買にかどわかされて江戸の隅田川のほとりに捨てられて死んだという悲しい伝説がある。私も十数年前の当日、この場所を訪れたことがあったが、案の定、お寺で供養が行われていた。「梅若の涙雨」と呼ばれ、この日は雨が多い。

名画で楽しむギリシア神話 ⑬

(承前)

辛く苦しい旅の日々が続いた。山中で古びた神殿を見つけたプシケは、隅々までいいねいに清掃した上で、摘んできた野花を祭壇に供えて祈りをささげた。すると、デメテル女神が姿を現した。

「プシケよ、お前が姿形だけではなく心も美しいことがよく分かった。アプロディテの住まいを教えてあげよう。私がじかにとりなしてあげることはできないが、ひたすら詫びて、どんな命令にも逆らわずに従ってみるがよい。そうすればきっとよい結果が得られるであろう」

ようやく尋ね当てたアプロディテの神殿で、プシケは怒り狂っていた母神に手荒い折檻を受けたが、それを耐え忍んだ。

彼女は、ひたすら許しを乞い求めた。「どんな仕事でもいたしますから、どうか追い出さないでください」(図1)

ついに根負けした女神は「使いのハトたちのための穀物を日没までにきちんと仕分けることができれば、今晩は倉庫の隅に寝てもよい」と言ってくれた。

山のような穀物を前に、プシケは死に物狂いとなつて働いたが、とても間に合いそうもない。すると、どこからともなく無数のアリが現れて彼女を助け、仕事を完了させてくれた。

翌日に与えられた第2の課題は、川向こうに住む人食いヒツジの金毛の収集であった。河神の教えによつて、恐ろしいヒツジに直面することなく、茨にかまっていた毛を入手できた。

第3の課題は龍に守られた大岩壁中腹の泉からの水汲みで、とても人間のできる仕事ではない(図2)。し

かし、1羽のオオワシが現れて、彼女に代わって水を汲んでくれた。

最後の課題として、冥府の女王ペルセポネから「美の秘薬」を受け取って、それが命じられた。生者が冥界に入ることは不可能である。「エロスに会えないままでは生きていても無意味だ」と覚悟を決めたプシケは高い塔に登って投身自殺しようとした。



図2 Giordano: プシケに難題を科すアプロディテ



図3 Burn-Jones: 冥界への渡し守カロンに乗船料を支払うプシケ

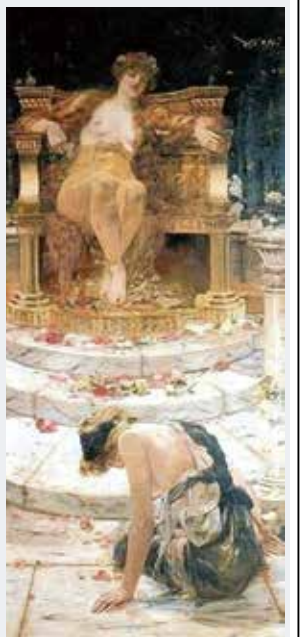


図1 E. Hale: Psyche at the Throne of Venus

歯科医師国家試験合格発表

新卒者 $\frac{58}{76}$ 人が合格

3月19日(月)、厚生労働省は、第111回歯科医師国家試験の合格者を発表した。本学の新卒受験者76人中58人が合格し、大幅に合格者数が増加した。新卒合格率は76・3%で、昨年の89・1%に及ばなかったが、全国私立歯科大学中第7位の合格率と健闘した。なお、新卒および既卒を合わせた合格者数は70人であった。

今回、総出願者数は3721人であったが、実際の総受験者数は昨年より約100人多い3159人であった。未受験者は562人と、各大学において国家試験受験者はかなり絞られている。総合格者数は昨年より56人多い2039人で、全体での合格率は64・5%を示し、昨年より0・5%低かった。

今回の第111回歯科医師国家試験は、4年ごとの出題基準改定に伴う実施となったが、必修問題80題中なんと9題の採点除外の取り扱いがなされた合格基準の設定結果となった。必修問題の難易度がかなり高くなったのが特徴である。今後、国家試験合格のハードルはさらに高くなることが予想される。

本学の建学の理念に基づく信頼される歯科医療人および研究者として社会に貢献する人材育成のために、歯科医師国家試験の合格は単なる通過点でしかないことは言うまでもない。今後、職員と学生が協調して歩む6年間の教育・研究・診療体制の整備が必須であり、本学のますますの発展を期待したい。



総合講義を受ける第6学年

歯科衛生士国家試験結果 衛生学院開校時より 今年も合格率100%堅持!

3月4日(日)に実施された歯科衛生士国家試験に、本学衛生学院歯科衛生士学科の2017年度卒業生25人が臨み全員が合格した。

本学院では、これまでに1263人の歯科衛生士学科(歯科衛生士科含む)の卒業生を排出した。全員が歯科衛生士国家試験に合格し、1977年の開校以来、合格率100%を40年間堅持している。これも、大学・大病院という恵まれた教育・実習環境に負うところが多い。今後、合格者は歯科衛生士として、口腔衛生の職務を担うスペシャリストとして臨床現場での活躍が期待される。

MTBペダリング 随想記



元シドニー五輪日本代表
鈴木 雷太

春分の日にまとまった雪が降った。天気予報の精度もあがり、1週間前から「雪予報」が連呼されるなかの降雪。雪が降るとワクワクするのは子どもや犬、スキーヤー、スノーボーダー、そしてマウンテンバイカーだろう。マウンテンバイクは森の中で走らせるスポーツ自転車だが、その走破性からして困難な雪道も、お楽しみアイテムに変身してしまう。

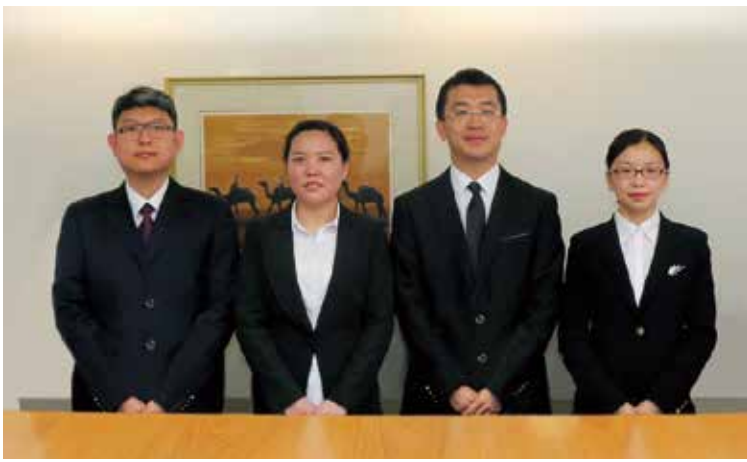
量にもよるがベストは15センチ程度のパウダースノー。われ先に真っ白な雪面に自分の印と見える轍をつけたくなるのは、スキーヤーと同じ感覚だろう。自然の凹凸やギャップ、木の根、岩などが雪に覆われ視覚的にも難しさや恐怖心がなくなり、気持ちも楽に走れる。最初は滑りそうだと思っても、走るうちに笑い声とともに恐怖心はどこかに吹き飛んでしまう。

最近ではスキー場のゲレンデをマウンテンバイクで走れるイベントもあり、子どもから大人まで雄叫びや歓声が飛び交っている。スキーやスノーボードの板が自転車に変わったただけだが、これがまた難しく面白い。

全くグリップしないタイヤを全身を使ってバランスをとり、感覚に頼って走らせる難しさ。自転車を操り、自然を克服して制覇していく。これこそが「the Mountain Biking」といっているのかもしれない。そしてこの克服感が楽しみの源だ。

春分の日の名残雪は残念ながら水分を大いに含み、走るのに適さなかったが、来シーズンの雪上ライドに思いを巡らせる春の幕開けの朝であった。

中国河北省より専修生として4人が来学 研修を通じて日中友好の架け橋へ



病院研修を開始する4人の専修生(左から李、楊、肖、崔の各医師)

大学グローバル化の一環として2月22日(木)、中国河北省の病院から口腔医師(歯科医師)4人が専修生として来学した。保定市第二医院・崔瑋、河北医科大学第三医院・楊金玲、



専修生より贈られた記念品

承德医学院附属医院・李樂、沧州市中心医院・肖遵勝の4人は河北医科大学などを卒業し、在籍する病院で活躍している口腔医師で、26日(月)より8月17日(金)までの6カ月間の予定で病院研修をスタートした。専修生の受け入れは、2015年の1月に行われた本学と河北省衛生・計画生育委員会との

「学術交流・友好協力協定」の締結時、同委員会の楊新建主任から矢ヶ崎雅理事長に依頼があり、2016年から始まり今回3回目になる。

本学と河北省の友好交流は30年以上の歴史があり、1983年に河北省衛生庁(現河北省衛生・計画生育委員会)との友好交流協定締結後、本学病院で研修した中国人研修生はのべ62人にのぼる。現在その多くが河北省および中国内外の歯科医療界で活躍している。今回派遣された4人のなかには、在籍する病院の診療科で責任者の立場にある者もあり、日本の医療を学びたいという強い意志のもとに来日した。

26日(月)は研修開始式が本部館において執り行われ、川原一祐学長、長谷川博雅歯学部部長、中村浩彰教務部長、宇田川信之学生部長、並びに今回指導教員

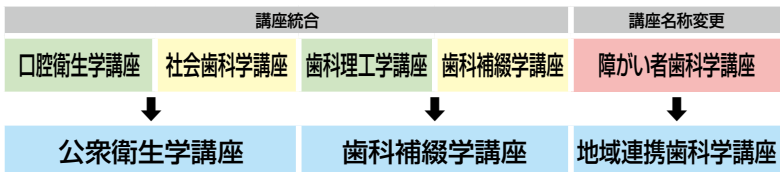
を担当する病院連携型口腔診療部門の各務秀明教授と病院総合口腔診療部門の石原裕一教授、羽鳥弘毅教授が同席した。

専修生並びに職員紹介の後、川原学長より「皆さんはこれからの半年間、本学病院で研修を行います。専門分野の研鑽だけでなく、ぜひともこの機会に日本の文化や言語、歴史なども学び、今後日中友好の懸け橋となってもらいたい。明白了嗎?」(分かりましたか?)と中国語を交え激励の言葉が贈られた。

続いて専修生を代表し肖遵勝医師が、「このたびは松本歯科大学で研修する機会を与えていただき、大変光栄に存じます。日本に來たからには法令を遵守し、世界の最先端である日本の医療システムを学び、祖国の医療に貢献できるようがんばります」と挨拶した。

(学事室 室長 酒井康成)

教育システムの益々の充実を目指して — 講座統合および名称変更 —



本学の「教育目標」は、「豊かな教養と高い人格を備えた有為な人材を育成することであり、人間的な心優しい歯科医師

を育成するために、独自の教育システムを具備したカリキュラム改革を継続的に進めている。このたび、ますますの教育システムの充実を目指して、「口腔衛生学講座」と「社会歯科学講座」を統合して「公衆衛生学講座」とし、「歯理工学講座」と「歯科補綴学講座」を統合して「歯科補綴学講座」とした。また、「障がい者歯科学講座」を「地域連携歯科学講座」と名称変更した。近年の学問体系と診療分野の多様化に対応するためである。

さらに、初年時教育の充実を目指して、第1学年教育カリキュラムを抜本的に改革した。従来、第2学年で行っていた「解剖学」および「解剖学実習」を、第1学年の履修とした。専門基礎科目の「自学自習」の習慣を修得することを目的としている。また、「英語コミュニケーション学」「数物学」を新規に開講し、教養科

目の充実を図った。第4学年においては、「摂食嚥下療法学」を開講し、新しい歯科医師国家試験出題基準に対応した。今後、担当教員のさらなる理

口腔顎顔面外科学講座・芳澤享子教授が講演

第6回長野県歯科インプラントネットワークミーティング

本学病院特別専門口腔診療部門の植田章夫診療教授が代表世



教育講演をする芳澤教授

話人を務める「長野県歯科インプラントネットワークミーティング」の第6回ミーティングが3月11日（日）、松本市内のホテルで開催され、特別講演や教育講演、ミニレクチャーなどで本学教授らが座長や講師として登壇。安全な歯科インプラント治療を行うための臨床現場の取り組みや研究結果を解説した。2013年に発足した長野県歯科インプラントネットワークミーティングは、歯科インプラント治療に携わる多種の歯科医療関係者が集い、安心・安全・確実な歯科インプラント治療の

提供を目指し、世話人には本学教授が名を連ねている。教育講演は本学総合歯科学研究所・各務秀明教授が座長となつて進行し、口腔顎顔面外科学講座の芳澤享子教授が「歯の移植を成功に導くために―適応症判定から予後予測まで―」と題して、歯の移植の術後経過や移植歯を喪失するメカニズム、予後因子などを説明するために2000年から2015年にかけて行つた複数の研究結果について解説した。

芳澤教授は「重要なのは適応症をきちんと選択し、正しい術式を用いた手術を行い、適切な術後処置と経過観察をすること」と話し、移植歯を喪失するさまざまな原因を詳述した。さらに予後因子の研究では、年齢、根管治療の既往有無、歯根数などの複数因子の組み合わせによつて移植歯喪失のリスクを170倍から3倍に減少できる可能性を示し、「術前の適応症を判定する際にはよく注意し

なければならない」と強調した。特別講演では植田代表世話人が座長を務め、東北大学大学院歯学研究科口腔病態外科学講座の高橋哲教授が「インプラント外科手術のリスクとマネージメント」と題して、インプラント関連外科手術に関するトラブルとその対処法や骨造成について大学との連携をどのようにす

リサーチマインドを身につけて活発な討議

第2・第3学年「歯科医学研究」発表会

2月28日（水）、講義館201教室で「歯科医学研究A・B」の発表会が行われた。この科目は昨年度から開講された選択科目で、第2・第3学年生の後期水曜日4時限に設定されている。未来の歯科医療を拓く歯科医師としてのリサーチマインドを身につけることを目的としており、受講を希望する学生は、研究テーマに対する仮説を立てて疑問点や問題点を自ら探求してゆく。

発表会はパワーポイントを用いた約10分間の口演の後、質疑応答5分という形式で行われた。発表内容は、歯科基礎医学的なもの、歯科臨床を踏まえたものなど4つのテーマについてプレゼンされた。それぞれの学生の研究内容、発表態度はすばらしく、発表の準備に授業外にも時間をかけて取り組んだことが伺えた。また、本科目を選択しなかった学生も発表会に参加し、



研究内容を発表する学生

活発な質疑応答が行われた。昨年度に比べて選択した学生は少なかつたが、歯科医学研究に触れるという機会を経験できて良かったと思う。本プログラムが、リサーチマインドを育む新たな教育カリキュラムとして定着し、来年度は多くの学生が参加してくれることを期待している。

なお、研究成果は松濤祭においてもポスターで学生が発表する予定である。

（口腔解剖学講座 教授 中村浩彰）

衛生学院第1学年・松沢舞さんが優勝の快挙

第38回加藤杯争奪剣道大会

2月25日（日）、体育館において第38回加藤杯争奪剣道大会を開催しました。加藤杯とは初代剣道部部長の故・加藤倉三先生（第二代学長）に由来する歴史ある大会です。諸事情により一時は開催が中断していましたが、昨年より再開しました。

今回の開催にあたり、茨城県からOB会長の中澤央先生（7期生・七段錬士）、北海道から内田圭治先生（4期生・七段教士）、そして学内から歯科薬理学講座教授の十川紀夫先生がご参加くださいました。審判長は師範の浜弘彦先生にお願いし、開会式を迎えました。開会宣言を伊沢正行監督が行い、そして顧問の金銅英二先生にご挨拶を賜りました。



加藤杯争奪剣道大会の参加者

ました。その結果、優勝は衛生学院第1学年の松沢舞さん（加藤杯開催史上初の女子優勝）、準優勝は第6学年の清水栄生先輩、3位は第5学年の蘆良全先輩でした。

試合後、審判長やOBの諸先生方からの講評をいただき、閉会宣言を宮原康太先生にお願いし、無事終了となりました。その後、参加者全員で稽古を行い、共に汗を流し、絆を深めました。

さらに、場所を塩尻市の中信会館に移し、長谷川博雅先生（剣道部前顧問）をお招きし、監督の伊沢先生の送別会と第6学年の松木綱大先輩、清水栄生先輩、洪志翔先輩の卒業祝賀会を開催しました。ご栄転される伊沢先生とご卒業された諸先輩方には、これからの剣道部OBとしてますますのご健康とご活躍をお祈り致します。

（剣道部主将 第2学年 田代陽介）

病院摂食嚥下機能リハビリテーションセンター・靨島弘之教授

摂食嚥下障害の評価法などを解説

長野県歯科医師会 実技講習会

2月25日（日）、本学図書会館学生ホールにおいて長野県歯科医師会主催の実技講習会が開催され、本学病院摂食嚥下機能リハビリテーションセンター長の靨島弘之教授が「診療室から始める摂食嚥下障害（初級編）」と題して、摂食嚥下障害の評価方法や口腔内観察のポイント、食事介助の方法などを解説した。

歯科医師や歯科衛生士など約30人が参加し、摂食嚥下障害を疑う患者が来院することを想定して、オーラルフレイル（口腔機能の低下や食の偏りに起因する全身の衰え）の診査やミールラウンド（多職種による食事の観察）の基礎を学んだ。



摂食嚥下障害について解説する靨島教授

自分の歩き方の特徴を知る

病院健康づくりセンター 歩行・バランス年齢測定会

病院健康づくりセンターでは、ユーザーで解析できる。測定後は、簡易重心動揺計を用いて、バランスの偏りがあるか、左右どちらの動作が苦手かなどを調べ、バランス年齢を知ることが出来る。その結果に応じて、当センターでは歩行フォームのアドバイスやトレーニング指導を行っている。

歩行測定は、無線式のセンサーを背中と腰に付け10メートル歩くだけで、歩き方の特徴や左右差、腕の振り方などがコンピ



歩行測定を行う参加者

ウォーキングは、歩数が多ければ良いわけではない。同じ歩数でも歩き方により運動量や体に与える影響には大きな差がある。またバランスの崩れた歩き方では、体への負担が大きく、怪我や痛みにつながる場合もある。自分の歩き方の特徴や体の使い方を把握することで、腰痛や転倒予防、歩行の質を高めることにも繋げられるので、「ウォーキングをしているのに痩せない」「歩くと腰や膝が痛む」という方は、ぜひ参加してください。

（健康づくりセンター 健康運動指導士 榎井秀紀）

第6学年 洪志翔君

日本小児歯科学会「学部学生優秀賞」を受賞

公益社団法人・小児歯科学会では、小児歯科学においてその学業、臨床成績が優秀であり、小児歯科学へ高い意気込みを持った学部学生対象者に対し、「日本小児歯科学会学部学生優秀賞」を贈呈している。

2017年度は第6学年の洪志翔君（41期生）が日本小児歯科学会学生優秀賞として承認された。洪君は台湾からの留学生ではあるが、学業が優秀であり、特に小児歯科学において成績が極めて優秀であることから推薦され、このたびの受賞（2月1日付）となった。



受賞した洪君（左）と大須賀教授

表彰された優秀者は、その学業や臨床態度・技能・知識が周囲に認められることとなり、さらにこの受賞を

機に今後の小児歯科学分野の臨床や研究に一層邁進されることも望まれている。

洪君は「小児歯科学会の優秀賞をいただき、小児歯科学に関する知識や診療技術を指導してくださった松本歯科大学の諸先生方に感謝いたします。今後、台湾に戻ってから歯科医師として精進してまいります」と感想を述べた。

今回の受賞を糧として洪君のさらなる活躍に期待したい。

（小児歯科学講座 教授 大須賀直人）

28人が臨床研修を修了し症例報告集を発刊

臨床研修歯科医症例報告会

2017年度臨床研修歯科医師症例報告会が2月23日（金）、24日（土）の両日、図書館学生ホールにて開催されました。川村仁歯科病院院長の「発表は1年間の臨床研修の成果の一部であるが、さらに二次医療に関わることができる歯科医師になっ

てほしい」という挨拶の後、28人の症例報告会が行われました。報告後は多くの

く講演いただきました。内容の一部として、人間はビタミンCを体内で合成できないが体の中から若々しくするには必要不可欠。活性酸素を除去してお肌を守ることやメラニン生成を抑制することは有名な話だがその他にも、不足するとストレスに対応する副腎皮質ホルモンを作れず疲労を起

こし、副腎疲労症候群となり、疲れ・倦怠感・抑うつ症状が出てしまう。そして誤ったうつ病の診断をされ抗うつ薬を飲んだ人の副作用として、ドライマウスになり味覚障害を引き起こすなど、悪循環になる。

日本の厚生労働省は一日の摂取量を欠乏症にならないための最低限100ミリグラムを推奨しているが、アメリカのアンチエイジング学会では最高の健康状態を保つために2000〜6000ミリグラムと設定、さらにその量を錠剤で摂る



桔梗会に参加された会員

うとすると賦形剤で肝臓を痛めてしまうため粉末での摂取を推奨している。

講演の内容にはありませんでしたが歯科の目から見ると、高濃度の粉末ビタミンCや果糖などは継続摂取で酸蝕症を起こす心配もあるので、オブラートやカプセルに入れるなど飲み方の注意啓蒙も出来るかなと思います。またサプリメントは、成分の配合量・オイルの質・安全な認定工場で作られているかを知り、上手に利用することが大切だと感じました。

講演後は食事をとりながら自己紹介や今後の桔梗の会のあり方をグループで話し合い、連絡を取りやすい、誰もが参加しやすい環境づくりをしようというところで意見が一致しました。

桔梗の会では、本大学を卒業し今を生きる女性歯科医師を全力で応援してくれる先輩がたくさんいます。なかなか他大学出身の先生には聞けない、話せないようなことでも、なんでも受け入れて相談に乗ってくれる経験豊富な先生方がいます。卒業生であれば現在は診療されていない方でもなだでも参加できる会になっています。ぜひ一度おいしき食事をいただきながら参加してみませんか？

（28期生 溝畑亜紀子）



臨床研修歯科医による症例報告の発表

させることにより、さらに実りある症例報告会にしたいと、多くの指導医の先生のご参加をお願い申し上げます。

また3月20日（火）には臨床研修修了証授与式が行われ、矢ヶ崎裕病院統括より研修歯科医全員に修了証が授与されました。

（研修管理委員会委員長 音響淳二）
（プログラムコーディネーター 吉澤洋一）

本学名誉教授・特任教授 橋本京一先生ご逝去



3月4日（日）、本学名誉教授・特任教授、元歯科補綴学第1講座教授の橋本京一先生（医学博士）が、ご逝去された。94歳。橋本先生は、1944（昭和19）年東京歯科大学専門学校（現・東京歯科大学）を卒業。45年に海軍軍医学校を卒業したのち、勤務医等を経て、62年より愛知学院大学の教員を9年余り務め、72年4月より本学歯科補綴学第1講座の教授として着任された。以来91年3月に定年退職されるまでの19年間、熱心に学生教育および臨床研究にあたり、本学の発展に尽くされた。2011年から本学特任教授。謹んで橋本京一先生のご冥福をお祈り申し上げます。

内科学・川茂幸特任教授が講演 「IgG4関連疾患、疾患概念の確立と概説」

2月13日（火）、本学内科学・特任教授の川茂幸先生を講師に、大学院セミナーが開催され、「IgG4関連疾患、疾患概念の確立と概説」について講演された。川先生は信州大学医学部に勤務時代にこの疾患を発見され、世界的な研究を行われ、現在も厚生労働省の研究班として活躍されている。

本症の臨床的特徴は、病変が全身に分布、画像所見として腫大、結節、壁肥厚を呈し、血中IgG4値が通常135mg/dl以上、病変局所にリンパ球浸潤を認め、ステロイド治療に良好に反応し、他のIgG関連疾患を同時に、異時に合併すること

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

① 5月27日(日)
② 6月17日(日)

※ 5、6月開催分のみ掲載

開催時間 9:45~15:00 (受付 9:15~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験
●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など

※ 参加希望の方は、本学ホームページまたは電話にてお申し込みください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp

人事異動

〔定年退職〕 3月6日付
小澤 博 事務局 企画課 課長補佐
3月31日付
熊井 敏文（准教授、歯学部 歯内科学講座 講師）
藤本 知一（講師、歯学部 歯内科学講座 講師）
須澤 秀雄（事務局 管理課 補佐）
伊比 篤（歯学部 歯内科学講座 主任）

4月行事予定

3日（火）〜4日（水）
オリエンテーション（第1学年）
4日（水）
オリエンテーション（第1〜3学年）
5日（木）
松本歯科大学入学式
歯学部・大学院・衛生学院
オリエンテーション（大学院）
6日（金）
オリエンテーション（第1〜3学年）
オリエンテーション（歯学部・衛生学院）
健康診断（衛生学院）
7日（土）
学外オリエンテーション（第1学年）
9日（月）〜11日（水）
オリエンテーション（歯学部・衛生学院）
18日（水）
交通安全講習会
23日（月）
献血
25日（水）
大学院発表会
29日（日）
観桜会・松壽祭
一日体験入学（衛生学院）

Economic News

内外の経済 3月29日付

東京外国為替相場と各国定期預金金利 (3ヵ月物)		
米ドル	107.85円	0.20%
英ポンド	151.35円	0.10%
スイスフラン	112.65円	0.01%
ユーロ	132.50円	0.01%
タイバツ	3.50円	0.10%
日本円	—	0.01%

(SMBC 信託銀行HP等より)

金店店頭価格 (消費税込み)	
日本金	21,271.73円
米国金	23,848.42ドル
金(1グラム)	4,966円
銀(1グラム)	4,881円
白金(1グラム)	3,581円
銀(1グラム)	3,452円